

## 「心に残る文化財子ども塾」指導案

日 時：令和7年5月22日（金）

場 所：松江市立古志原小学校

英語ルーム・各教室

対 象：6年生99名

指導者：古志原小学校 教員4名

埋文センター職員2名

- 1 主題 はにわ作り体験と松江市の古墳時代
- 2 本時のねらい ○松江市の遺跡や古墳を知ること、地域の歴史・文化についての理解・関心を高める。  
○はにわ作り体験を通して、古代の人々の生活や文化への理解を深める。
- 3 本時の展開

時間	学習活動	指導者の支援及び留意点	準備物
13:50 ～13:55	はじめの会（英語ルーム） ・本時のねらい ・講師紹介	○ 本時の見通しをもてるよう、ねらいや学習内容を伝える。	<b>【学校】</b> ・プロジェクター ・スクリーン
13:55 ～14:10	身近なところにある遺跡や古墳について知る	○ 学校周辺の遺跡地図を用い、身近なところに遺跡や古墳があることを示す。 ○ 古墳の写真や出土品を示し、興味が持てるようにする。	・長机（2） <b>【センター】</b> ・PC ・遺跡地図 ・資料
14:10 ～14:20	「はにわ」について学ぶ	○ 「はにわ」がどのようなものであったか、写真などで説明し、体験活動への動機づけとする。	・出土品 ・粘土 ・加工具 ・手順のプリント
14:20 ～14:30	出土遺物見学 はにわ作り準備	○ クラスごとに、入れ替わりで見学と準備を行う。	<b>【児童】</b> ・新聞紙 ・水入れ
14:40 ～15:20	はにわ作り体験（各教室）	○ 体験の前に制作手順を説明する。 ○ 児童の様子を見ながら、必要に応じてアドバイスをする。	・ラップをまいたトイレットペーパーの芯 ・粘土板
15:20 ～15:25	終わりの会	○ 児童から感想を発表してもらい、まとめとする。	